



**TRAM SYSTEM**

**NEWS LETTER**

**Ver. 2014. 07**

## 今月のコンテンツ

## ADSL

## 電話回線

- ◎ 電話回線が光ファイバーを凌駕する
  - ・10Gbps の超高速通信に成功



## 携帯三社

- ◎ 新料金プランが出揃う
  - ・世は定額通話時代に入

## サイバー攻撃

- ◎ 世界で起きているサイバー攻撃
  - ・サイバー攻撃をリアルタイムでみる



6大会ぶり4度目の優勝

ワールドカップ ブラジル大会がドイツ優勝で幕を閉じましたね。10年かけて築いた攻撃的サッカーで見事優勝、準決勝のブラジル戦では「7 - 1」と圧巻でした。通信業界では後手後手に回って苦境を強いられていたdocomoが漸く先制攻撃ともいえる攻撃的な一手にでました。皆さんも気になってるであろう「定額通話」です。今回はこの「定額通話」について、docomoの思惑と三社の料金プランの違いについて解説していきます。

## ◎ 電話回線が光ファイバーを凌駕する

### ・10Gbps の超高速通信に成功



近年、光ファイバーの高速化・無線通信での高速化に各社がしのぎを削っていますが、アメリカのベル研究所では電話回線の限界値に挑戦し続けており、XDSLとよばれる回線で10Gbpsという驚異的な通信速度を実証実験でたたき出しました。

現在でも山間部や地下鉄が多く通っているところでは、新たに光ファイバーを敷設することが困難になっており、NTTの回答でも「その地域に光ファイバーを敷設する予定はありません。」と言われている地域が少なくありません。しかし、今回のXDSL回線は既設の電話回線を使って実現されるため、今まで回線速度が遅かった地域でも高速通信を実現できる可能性を明らかにしてくれたものです。

日本でこの技術が普及するのがいつ頃かはまだわかりませんが、NTTもベル研究所に出資するなりしてちゃっちゃと日本で実現して欲しいものですね。



1Gbps = 1000Mbps

G(ギガ)      M(メガ)

### 【 最近の光ファイバーの通信速度 】

なぜかNTT西日本限定の隼プラン	1Gbps
日本で一番多い光ファイバーの速度帯	100Mbps～200Mbps
現在のADSL最高速度	50Mbps
データ量の多いホームページや 動画をストレスなく見るのに必要な速度	50Mbps前後



## ◎ 新料金プランが出揃う

・世は定額通話時代に入



先日、KDDIが新プラン「カケホとデジラ」を発表したことで、docomoの「カケホーダイ&パケあえる」とSoftbankの「新スマ放題」と合せて携帯各社の新料金プランが出揃ったことになりましたが、ここで3つの疑問点がわき上がります。

- ① いつも遅れてサービス展開していたdocomoが今回真っ先にサービス開始
- ② なぜか基本料金が三社全て同じ
- ③ んで、どこが一番安いの？

音声の基本料金

スマホ	¥2,700
フィーチャーホン	¥2,200

①と②に関しては同じ根をもつ問題なんです、これは携帯電話・固定電話のシェア率が大きな原因になっています。

ユーザーが電話をかける際、携帯・固定電話各社は相手先の電話会社に「接続料」を支払わないといけません、固定電話で76%・携帯電話で45%のシェアを持つNTTのみ、ユーザーが電話をかけても接続料を支払う先の大半が自社グループ内でおさまるという1人勝ちの構図で、au Softbakにとっては出来ればやりたくないプランだけどユーザーが流れるのを食い止めるために泣く泣くサービス展開したという背景があり、まさにdocomoの王手飛車取りなわけです。

### NTTグループの市場シェア率

音声	76%
FTTH	72%
法人データ	62%
携帯	45%

## ◎ 新料金プランが出揃う

### ・世は定額通話時代に入

#### データ契約一覧表

	NTTドコモ	KDDI (au)	ソフトバンク
2GB	3500円	2566円	3500円
3GB	-	3266円	-
5GB	5000円	3590円	5000円
8GB	-	5390円	-
10GB	9500円	6590円	9500円(キャンペーンで8000円)
13GB	-	8390円	-
15GB	12500円	-	12500円
20GB	16000円	-	16000円
30GB	22500円	-	22500円

au はスマートバリュー適用時の価格  
(カケ放題プランとセットで申し込むと適用)

#### まとめ

独身者やヘビーユーザーに優しいau、家族利用時はケースによってdocomo・Softbankがお得というところでしょうか。後発の利点が生きているauが一步リードといった印象です。個人的な今後の注目はSoftbankの挙動です。あのSoftbankがコピーのまま終わらせるとは思えませんし、何か斬新なアイデアが既にあって虎視眈々と時期を見計らってるような気がしないでもないですね・・・。

次に三社の大きな違いについてですが、docomoのサービスを完全にコピーしたものがSoftbankのサービスなのでこの二社の違いはあまりありません。キャンペーン等で少し差を付けてるくらいでしょうか。後発になるauが利用者が集中しやすいと予想される2~10GB付近を充実しており、一般的な各自の利用スタイルに配慮したかたちです。注目したいのは「家族シェア」というサービスです。これは家族の1人が10GB以上を契約していれば、他の家族はデータ定額を申し込まなくて良いというもの。auも「データギフト」という似たサービスを提供しているが、1台ずつデータ契約する必要があります。また、データ容量をオーバーしたときに追加購入できるのですが、auは有効期限が62日。docomo・Softbankは当月しか利用できません。加えてSoftbankでは使い切れなかったデータ容量を翌月に繰り越せるようになってますが、「家族データシェア」適用時には繰り越せません。

気になる法人向けのサービスは残念ながらまだ出揃ってないようです。

## ◎ 世界でおきているサイバー攻撃

### ・サイバー攻撃をリアルタイムでみる

米国のセキュリティー企業Norse社は、世界のどこからどこへサイバー攻撃が行われているのかリアルタイムでわかる※1ワールドマップを公開しています。

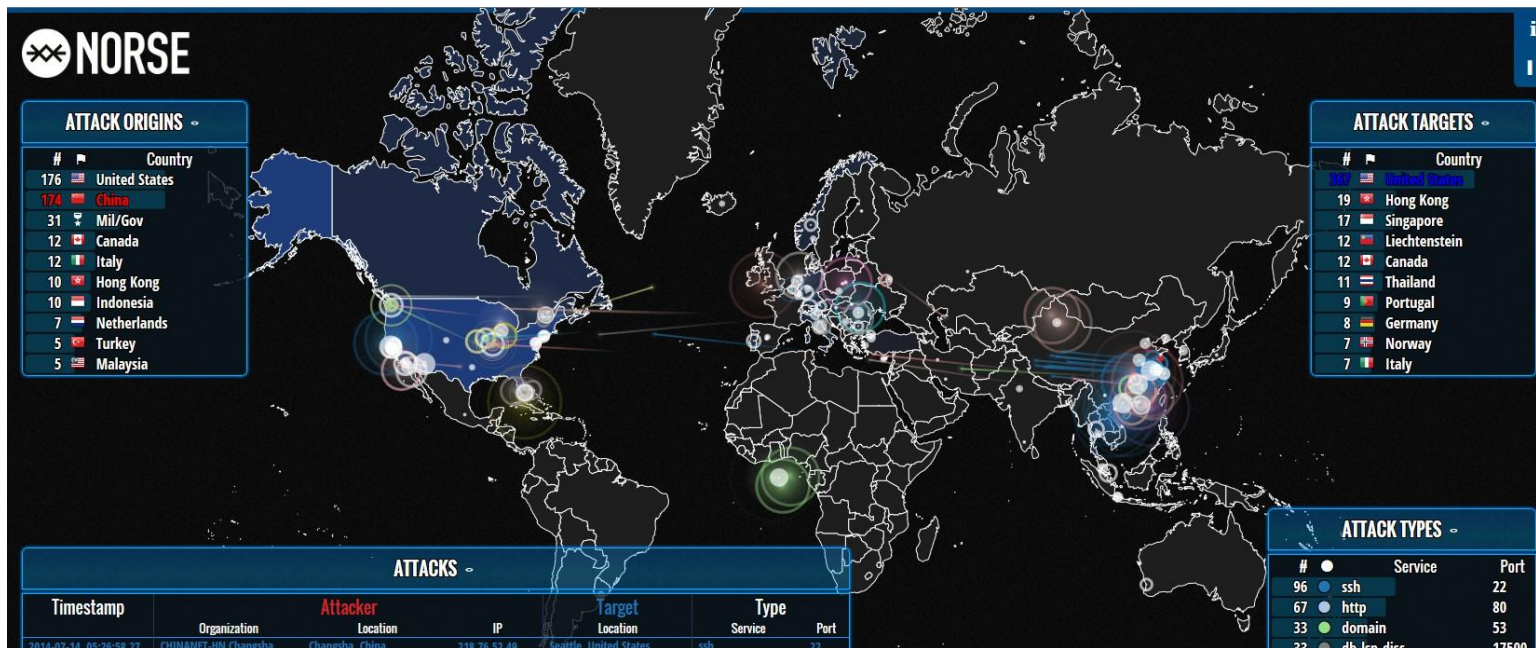
表示されている攻撃は、Norse社の※2ハニーポットに対する最新のトラフィック流入の一部に基づいており、常習犯による世界のサイバー攻撃の実態を表しています。「いま」、「どの国が」、「どの国を」、「どの攻撃方法で」標的にしているのかひと目でわかります。

※1 サイトURL

<http://map.ipviking.com/>

※2 ハニーポット

ウィルスやワームの検体の入手、不正アクセスを行うクラッカーをおびき寄せ重要なシステムから攻撃を逸らしたり、記録された操作ログ・通信ログなどから不正アクセスの手法と傾向の調査を行う。





## ◎ 世界でおきているサイバー攻撃

・サイバー攻撃をリアルタイムでみる



### ATTACK TARGETS

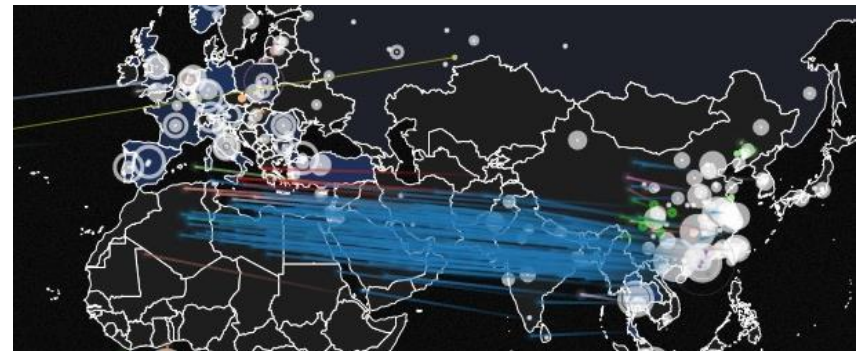
#	Country
2394	United States
100	Hong Kong
78	Canada
78	Thailand
52	Germany
46	Singapore
42	Turkey
40	Spain
37	Norway
34	Australia

こちらが攻撃を受けている国と回数です。ほとんど米国が攻撃を受けていることがわかりますね。しかも米国から米国への攻撃が頻繁に起こっていることから他国の人間が米国経由で攻撃しているとも考えられます。

### ATTACK ORIGINS

#	Country
1323	United States
806	China
334	Mil/Gov
118	Canada
73	Hong Kong
44	Taiwan
32	Netherlands
31	Thailand
25	Italy
25	Indonesia

攻撃している国と回数が表示されています。米国と中国で頻繁に攻撃が繰り返されてます。



中国からの一斉射撃、米国に向けてまっしぐらです。これが5分に1回くらいのペースで発生してます。これでも世界のサイバー攻撃の一部だということですから、まさにサイバー戦争は始まっていると言えます。今のところ日本は蚊帳の外ですが「明日は我が身」、まずは最低限のセキュリティを組んでおきたいところです。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : [info@tramsystem.jp](mailto:info@tramsystem.jp)